

## 民生常任委員会行政視察（概要）

### 1 視察日

令和元年5月20日（月）～21日（火）

### 2 視察項目（視察都市）

- ・地域包括ケアシステムについて（富山県南砺市）
- ・富山市まちなか総合ケアセンター（富山県富山市）

### 3 参加委員

委員長：辰見 登、副委員長：朝田 充

委員：大野 幾子、安孫子浩子、小林美智子、河本 光宏、上田 嘉夫

### 4 調査概要

南砺市は、平成29年1月、南砺市地域包括ケアセンターを開設し、その中に、福祉部門の部局を集約させ、部局横断的な相談体制を確保することで、市民ニーズに応じた在宅ケア、介護、医療、福祉サービス等を一体的に提供している。また、地域包括ケアの提供に当たり、地域住民の助け合いである「互助」を重視した人材育成に取り組んでおり、地域医療・地域活性化マイスター養成講座、市内の全小中学校で認知症サポーター養成講座等を開催している。

富山市は、平成29年4月、中心市街地にあった小学校跡地を活用し、「富山市まちなか総合ケアセンター」を開設した。センターは、高齢化の進展が著しい中心市街地において、都市型の地域包括ケアの拠点として、乳幼児から高齢者、障害者など、地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを推進することを目的に、主に、子育て支援、在宅医療の推進、地域コミュニティの醸成に取り組んでいる。また、施設の周辺には、看護専門学校、調理専門学校、グンゼスポーツなどの民間施設もあわせて建設され、医療、福祉、健康の交流拠点として、官民が連携した取り組みを実施している。



### 5 委員長所感

南砺市、富山市の両市とも、住み慣れた地域で住み続けられるよう、在宅医療の推進に力を入れていた。南砺市では、市域が非常に広いことが在宅医療の推進に不利な条件となるが、地域住民を巻き込み、在宅医療の推進に取り組んでおられる。また、富山市では、中心市街地に在宅医療のみを行う「まちなか診療所」を設け、在宅医療を推進している。ここは市長の強い思い、決断によりセンターができたということで、患者の気持ちに寄り添った施策を市長が先頭を切って推進されていることは大変すばらしいことだと感じた。